

2007年10月8日(月・祝)、公開フォーラム開催
「医療事故・謝罪運動の普及に向けて～賛同者の集い」を、東京・青山で

「医療事故：真実説明・謝罪普及プロジェクトチーム」は、ハーバード大学の「医療事故：真実説明・謝罪マニュアル」を翻訳し、この趣旨への賛同者を募ってきました。このマニュアルは、「医療事故が発生したら遺憾の意を表明してきっちりと状況を説明し、過誤がある際には謝罪をし、組織的に十分な対応をしよう」というものです。すでに、たくさんの病院から共感の意が寄せられました。

このほど、こうした考え方に賛同する者たちが一同に会して意見交換し、今後のさらなる普及を考える機会を作ることといたしました。一般の方の参加も可能です。

■日時：10月8日(月・祝)13時～17時(開場 12時半)

■場所：農林水産省共済組合「南青山会館」大会議室

<http://www.nissoken.com/s-map/351-11.html>

東京都港区南青山五丁目7番10号 電話：03(3406)1365

交通機関：東京メトロ銀座線・半蔵門線「表参道」駅(B3出口)

■主催：「東京大学医療政策人材養成講座受講生有志、医療事故：真実説明・謝罪普及プロジェクトチーム」

■参加費：1000円

■参加予約：予約は不要です。ただし、席数は約200席と限られています。**プロジェクト関係者以外の一般参加の方々のご来場を歓迎いたしますが、満席の場合は先着順とさせていただきます。あらかじめご了承をお願いします。**

■公開フォーラム概要：(一部、内容に変更が生じることがあります)

【第1部】賛同者大集合

〔パート1〕「医療事故：真実説明・謝罪運動とは」

- ・謝罪マニュアル、謝罪運動の概要説明(プロジェクトチームより)
- ・大規模実践者から(全国52病院での導入を決めた社会保険病院グループの理事長 伊藤雅治さんなど)

〔パート2〕「私も賛同します」

- ・集まった賛同者たちからのメッセージ(1分間スピーチ・リレー)

【第2部】さらなる普及に向けて

〔パート1〕「私たちは歓迎します」

- ・医療過誤被害経験者から(東海大学における医療過誤の経験者 菅俣さん夫妻/東部地域病院における医療過誤の経験者 豊田さん)

〔パート2〕「私たちもやっています」

- ・実践者の声(すでに実践している病院からの体験談)

〔パート3〕「謝っても本当に大丈夫？」

- ・謝罪すること自体が医療機関にとって紛争対応などにおいて不利にならないのかを検討する(弁護士から、研究者から、実践者から)

〔パート4〕「日本版謝罪マニュアル作成に向けて」

◎共同宣言採択

*フロアからの質疑の時間も設定する予定です。

★お問い合わせ先：牧田 info@stop-medical-accident.net

★本プロジェクト・ウェブサイト <http://www.stop-medical-accident.net/>